

講義レジュメ

内容・テーマ
市民と作る博物館活動

講師 澤村 泰彦

期 日 令和元年10月4日

●平塚市博物館の概要

(1) 立地・データ

平塚市：人口 26 万 横浜へ 30 分

博物館：駅から徒歩 20 分 1976 年開館の地域型博物館

市庁舎から徒歩 5 分 文化公園

館長：市職員（課長職）

(2) 博物館の設備と事業

収集保存、常設展示、プラネタリウム、特別展、年間 300 回の行事

●会員制行事（ワーキンググループ）ですること

(1) 会員制行事は、市民とともに進める調査収集

(2) 階層化型の事例（星を見る会と天体観察会）

(3) テーマ型の事例（石仏を調べる会・空襲と戦災を記録する会・裏打ちの会）

(4) 事例のまとめ：博物館（学芸員）と市民との関係性

●館長は何をするのか

お礼・おわび、交渉事は管理職の仕事

マネジメント（学芸員が見落としがちな大事なこと）で何ができる？

行政と博物館の間でできること

学芸員へのこんな意思の伝え方

●博物館長への期待の中で・・・懸念

〔参考文献〕

浜口哲一『放課後博物館へようこそ』（2000）地人書館

栗山雄揮「平塚市博物館がめざす地域博物館像」（2015）『博物館の未来をさぐる』東京堂出版 神奈川県博物館協会編